

◆ NPO法人「にっぽん文明研究所」後援：宗教新聞社 講演会 ◆



NPO 法人「にっぽん文明研究所」が後援する講演会のお知らせです。今回は私共の推薦で講師をお引き受け頂いたフランス在住の、比較文化史家でバロック音楽奏者でもある竹下節子氏です。テーマは日本人とフランス人の「死生観」です。先生は“…死は、いくら先送りしてもいつかは必ず訪れる。自らに差し迫って来てはじめて怖れを感じる。”“…洋の東西を問わず、宗教は死の恐怖を克服する道を教えてきたが、「本当は怖い死」に立ち向かうには、この世とあの世の関係性を意識することが必要ではないか…”と語られます。“死は自己の存在が無に帰するのではなく、永遠の人生への移行。死は終わりではなく、生者の為の「利他」的人生を、新たに出発する時ではないか…”宗教思想史、エゾテリズム（秘教史）を修められた竹下節子先生のスターティングの勧めです。死後に始まる「第三の人生」とは…。ぜひご参加ください！（奈良 泰秀）

◆ 「エンディングからスターティングへ」 ◆



— 日本人とフランス人の死生観 —

講師：竹下 節子 氏（比較文化史家）



（たけした せつこ）東京大学大学院比較文学比較文化修士課程修了。同博士課程、パリ大学比較文学博士課程を経て、高等研究所でカトリック史、エゾテリズム史を修める。比較文化史家・バロック音楽奏者。主な著書に、『聖母マリアー〈異端〉から〈女王〉へ』『知の教科書 キリスト教』『フリーメイソンーもうひとつの現代史』（講談社選書メチエ）『ユダヤ烙印された負の符号の心性史』『無神論—二千年の混沌と相克を超えて』（中央公論新社）他多数。

- 日時：平成27年7月7日(火) 1:30p.m～4:00p.m (1:00p.m開場)
- 会場：アルカディア市ヶ谷 私学会館 *会場室名は当日案内板でご確認ください。
(〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-25 : TEL 03-3261-9921 下記案内図)
- 入場料：¥1,000円 (*ご参加を下記の Fax・メール・電話でご連絡ください)

◎ 参加申込み (Fax送信用：NPO法人「にっぽん文明研究所」)【締切り=7月4日(水)】

Fax：送信先 045-491-7461 e-mail：info@nippon-bunmei.jp Tel：045-481-9361

(ふりがな) 姓 名 () 歳

ご住所

お電話

(お差支えなければ)

ご職業

*入場料：当日お支払いです。ご予約後のキャンセルはご遠慮ください。

会場地図⇒



【アルカディア市ヶ谷 アクセス】 JR 中央線(各駅停車)、地下鉄有楽町線・南北線、都営地下鉄新宿線 各市ヶ谷駅下車徒歩2分